

第5回

リハビリテーション高度専門職業人養成公開講座

医療は日々進歩し、またそれに携わるリハビリテーション関連職種も日々研鑽しなければなりません。そこで吉備国際大学保健福祉研究所では保健科学部学生、保健科学研究科大学院生、卒業生などリハビリテーションに関わる人材に広く呼びかけてオープン・リサーチ・センターとしての研究所を活用した人材育成のための公開講座を開催することに致しました。

今回は、岡山リハビリテーション病院で臨床実習指導法について研究・実践をされている吉村政則先生にお越し頂き講演していただきます。臨床実習に関する報告をまとめた上で、従来型（マントウマン式、積み上げ式）の実習指導とクリニカルクラークシップ法による見学と模倣を重視した指導法との比較研究結果をお話していただきます。また実際の臨床実習指導の方法についてもビデオなどを利用して紹介していただく予定です。

近年の養成校の増加・若者の心の病・患者の権利意識の高揚等、臨床実習の在り方については多くの方が苦勞されていると思います。また臨床実習指導経験が浅く、どのように後進指導していけばよいのか分からない、といった方々にとってこの講座では有益な情報が得られるものと思います。ふるってご参加下さい。

日時：平成20年3月6日（金）19:00～21:00

場所：保健福祉研究所（15号館）1階

（ホームページ参照 <http://kiui.jp/pc/hokenfukushi/>）

【講演】 19:00～20:00

演題 「クリニカルクラークシップの理論とエビデンス」

講師 岡山リハビリテーション病院

吉村 政則 先生

【クラークシップの実際】 20:00～21:00

岡山リハビリテーション病院での指導の実際をビデオにて紹介します。



参加費無料

主催・お問い合わせ先
吉備国際大学 保健福祉研究所
〒716-8506 岡山県高梁市伊賀町8

Tel&Fax:0866-22-9482(玉利研究室)
e-mail:ktamari@kiui.ac.jp

本事業は、平成19年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）の選定事業です。【研究テーマ「健康寿命を延伸するリハビリテーション先端科学研究」】